

熊本市保健所長 様

熊本県健康福祉部健康危機管理課長

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）の感染拡大防止について

例年、冬場には全国的にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が流行します。

本県でも今年に入り定点医療機関からの報告数が第1週(1/4~1/10)332件から第7週(2/15~2/21)637件と倍増しており、感染性胃腸炎による学級閉鎖やノロウイルスを原因とする食中毒の発生が見られるなど、感染は県内全域に広がっています。

ノロウイルスに感染すると、下痢、嘔吐などの症状が見られ、通常1~2日で回復しますが、乳幼児や高齢者等では、脱水症状を起こしたり、吐いた物を誤って飲み込み、肺炎を起こしたりすることがあります。

また、これから春先にかけては、ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎への注意も必要です。

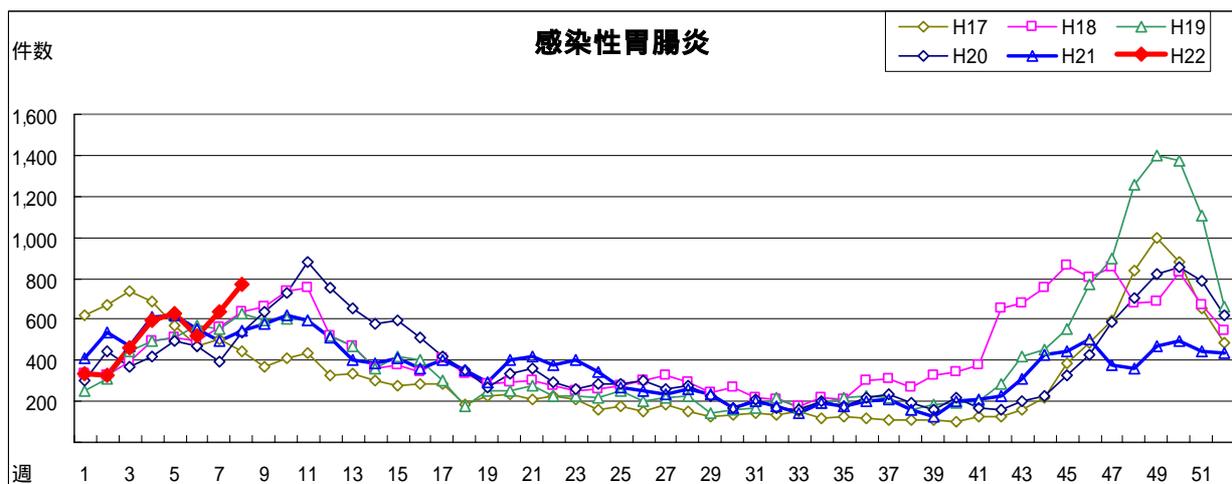
感染性胃腸炎は感染力が非常に強く、集団内での発生は、数多くの患者発生につながります。

つきましては、貴管内の関係機関等に対し、十分な手洗いや適切な食品の取扱いなど感染及び食中毒の予防策の徹底について、周知いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、(社)熊本県医師会には、別途通知していますので申し添えます。

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）について

<http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/32/noro.html>



熊本県健康福祉部健康危機管理課

感染症対策班

担当：矢野、財津（7080）

直通：096-333-2240

食品衛生班

担当：市田(7187)

直通：096-333-2247